

【(公益充実資金の明細)】

1. 公益充実資金の前年度末明細

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
RICシステム更改費用準備資金(補償保険事業)	費用	2026	118,000,000 円	78,000,000 円

2. 公益充実資金の本年度末明細

当該事業年度開始日(西曆)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末						
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
78,000,000 円		34,151,039 円	34,151,039 円	0 円	43,848,961 円	118,000,000 円
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考	
RICシステム更改費用準備資金(補償保険事業)	費用	2026	118,000,000 円	34,151,039 円		

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

各資金の明細		期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
RICシステム更改費用率	費用	円	118,000,000 円	19 月	74,526,316 円	74,526,316 円

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

各資金の明細		積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
RICシステム更改費用率	費用	0 円	
合計		0 円	34,151,039 円

費用														
特定の事業又は資産取得等の名称		RICシステム更改費用準備資金(補償保険事業)												
当該活動の内容		当財団基幹システムの機器等更改費用のうち、役務費用について所要額を積み立てるもの。												
計画期間(目的設定～実施)		西暦	2022	年	4	月	～	2026	年	11	月	月数 (	55	月)
所要額の算定方法		積立開始時の業者見積額による。 ①ハード設計・構築 17,111千円 ②DB移行作業 5,704千円 ③環境移行作業 11,407千円 ④OS・DB等画面修正・テスト 46,200千円 ⑤OS・DB等帳票修正・テスト 24,526千円 ⑥プロジェクト管理 13,689千円 計 118,637千円												